

第十四番 壽福寺（聖觀世音菩薩）

- *宗 派 浄土宗
- *御本尊 阿弥陀如来
- *開 基 石井三郎右衛門 青山伊兵衛
- *開 山 心蓮社 満誉上人
- *現住職 第二十九世 伊藤（徳誉）光史
- *〒二二一〇〇五七 川崎市幸区北加瀬一―十二―二十
- *☎〇四四―五九九―二九四三
- *横須賀線「新川崎」駅下車 西へ徒歩十分 または同駅より臨港バス「壽福寺前」下車
徒歩三分

当山は天文十八年（一五四九）に創建された。延宝七年（一六七九）六月火災を蒙り堂宇古文書等灰燼に帰したが、宝暦五年（一七五五）第十八世妙誉頂上人檀信徒有縁の方々より喜捨を得て再建された。開設以来四百六十五年の法燈連綿として現在に至る。山号は無量山延命院である。当山午歳開帳の聖觀世音菩薩は立像（像高四十四cm）一本造り彫眼天衣兩足先。厨子の銘には聖觀世音菩薩御丈一尺三寸の立像とある。また、左の御手は未敷蓮華右の御手は施無畏の印是則に福聚海無量の姿で衆生を救済する尊形也、台徳院様四十二才御厄除の為深く信仰被為其後御三之丸御殿に安置し代々様御信仰被候、桂昌院様元禄十七年（申）正月円光大師御忌法要之節侍女豊小路殿が東京の寺に下附なされたところがあるが、奇しくも当山に安置された縁起については判明できない。

この仏像について昭和五十六年一月十九日川崎市教育委員会文化財審議員の三山進先生と木間紀男先生は造立年代は平安後期的な作風を示すと調査された。

ご 詠 歌

おんちかい

まかせにたのむ

かんぜおん

むりようじゆふくの

みなぞとうとき



（第14番 壽福寺）